

吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

5月6日午後に現地調査を実施した結果、噴気孔周辺で硫黄の燃焼による局所的な高温域が認められました。

なお、吾妻山の噴火警戒レベルは1(平常)が継続しています。噴火予報警報事項に変更はありませんが、火口内で噴気、火山ガスの噴出がみられますので、火口内では警戒が必要です。また、大穴火口周辺のくぼ地や風下側でも火山ガスに注意が必要です。

噴気及び地表面の状況

5月6日に「青白い煙が見え、5日夕方ごろには噴気孔付近が赤く見えた」という情報が吾妻山浄土平レストハウスから气象台に寄せられ、同日午後、仙台管区气象台及び福島地方气象台による現地調査を実施しました。その結果、赤外熱映像装置による地表面温度分布で噴気孔周辺に硫黄の燃焼による局所的な高温域が認められました。また、日中はこの付近から青白い煙が生じ、夜間は発光していることを確認しました。

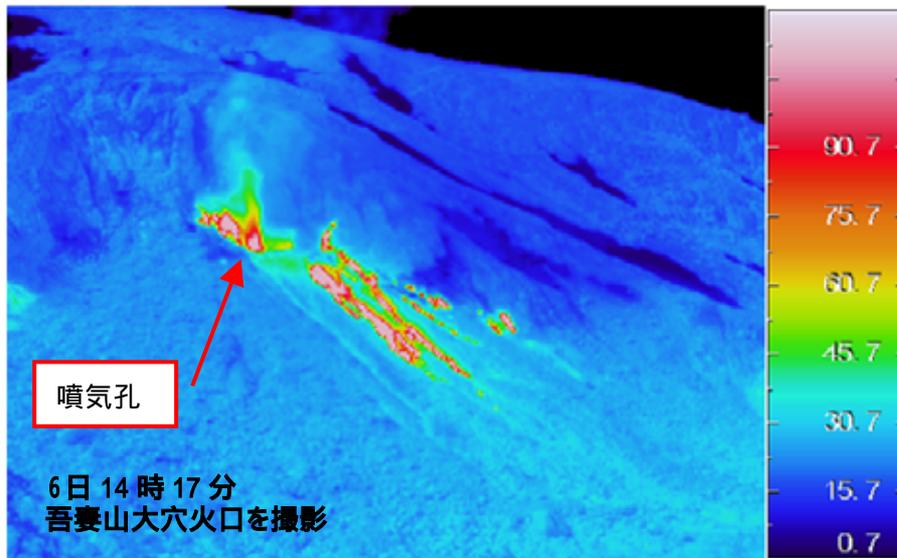


写真1 吾妻山大穴火口の地表面温度分布



写真2 吾妻山大穴火口の可視画像



写真3 吾妻山大穴火口の可視画像(夜間)

地震・微動活動の状況

5月4日07時23分から約32分間にわたって火山性微動が観測されましたが、その後は観測されていません。火山性微動を観測したのは今年1月29日以来です。火山性地震は2009年10月以降、やや多い状態で推移しています。

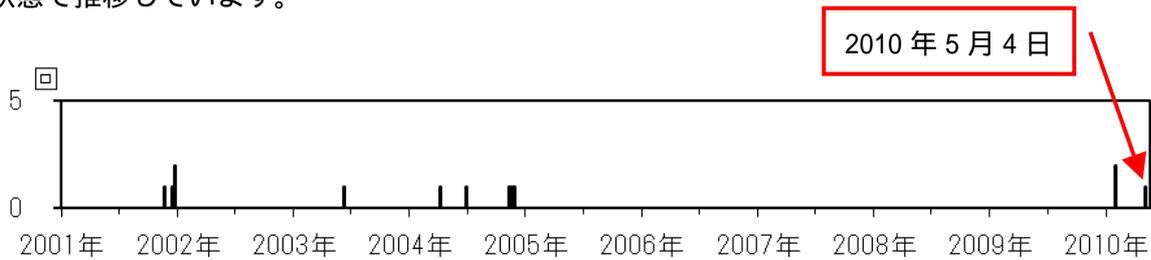


図1 吾妻山の日別微動回数(2001年1月～2010年5月6日)

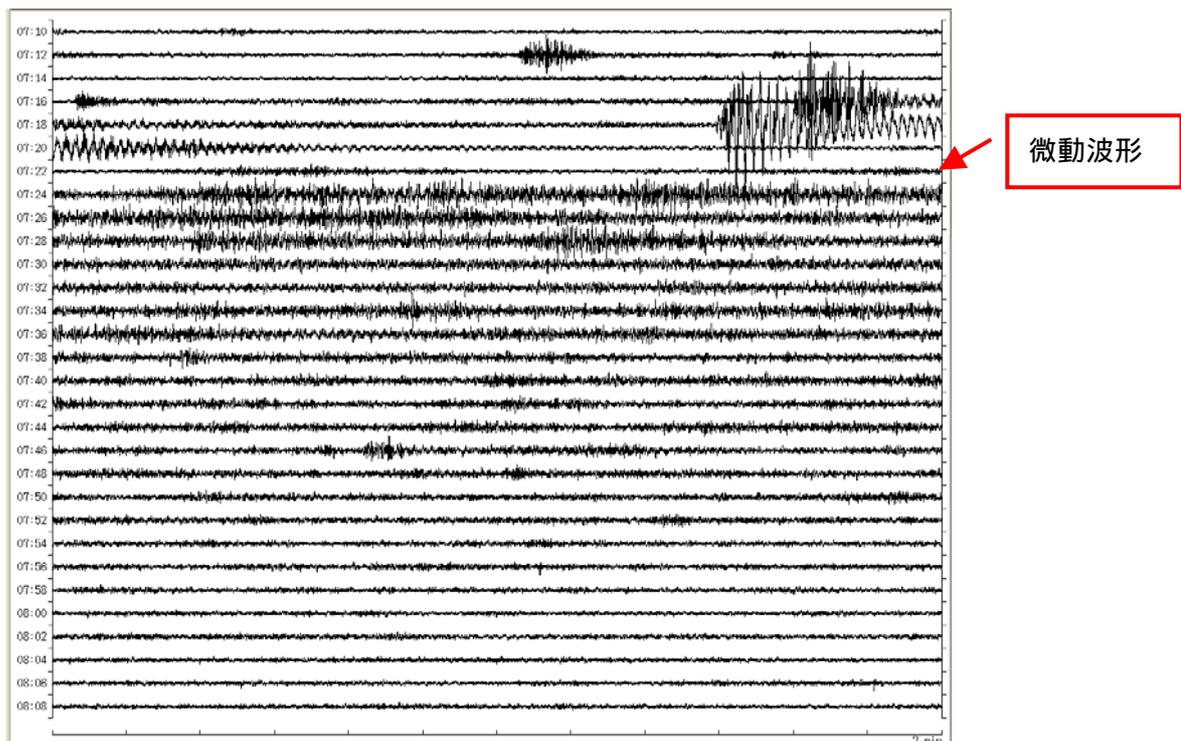


図2 吾妻山A点(基準点)における微動波形(2010年5月4日07時10分～08時10分、1行2分間の表示)